

平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 利美知
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 秋山 昌之

TEL 03-3362-7130

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	9,142	22.6	382	23.6	325	32.5	140	37.8
25年5月期第1四半期	7,458	5.4	309	△22.0	245	△33.3	102	△53.8

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 144百万円 (37.0%) 25年5月期第1四半期 105百万円 (△51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年5月期第1四半期	1,878.83	—
25年5月期第1四半期	1,363.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第1四半期	24,141	4,498	18.0
25年5月期	23,774	4,459	18.1

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 4,337百万円 25年5月期 4,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年5月期	—	0.00	—	1,400.00	1,400.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	0.00	—	1,400.00	1,400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	18,100	20.7	820	28.2	750	48.0	300	△53.4	3,999.84
通期	37,000	10.9	1,810	28.2	1,640	33.5	700	△26.9	9,332.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
* 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	78,495 株	25年5月期	78,495 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	3,492 株	25年5月期	3,492 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	75,003 株	25年5月期1Q	75,003 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日～平成25年8月31日）における経済状況は、中国をはじめとする新興国経済の減速や長引く欧州経済の低迷等の不安材料を抱えるものの、政府の経済対策や日銀の金融政策により、企業業績の改善や個人消費の持ち直し等、景気回復への兆しも見られる状況にあります。

このような情勢のもと、当社グループは、引き続き新規出店による事業基盤の拡大に努めるとともに、異業種との業務提携に基づく調剤薬局の面展開や新業態開発に向けた取り組みを着実に推進しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は9,142百万円（前年同期比22.6%増）、営業利益は382百万円（同23.6%増）、経常利益は325百万円（同32.5%増）、四半期純利益は140百万円（同37.8%増）と前年同期比で増収増益を確保することができました。

売上高につきましては、前連結会計年度に取得した新世薬品株式会社や有限会社たかはし（現 株式会社たかはし）等の調剤薬局事業会社及び紙カルテやレントゲンフィルム等の医学資料の保管・管理業務を担う株式会社寿製作所が連結売上高に寄与したほか、処方せん単価の上昇等により前年同期比で増収を確保いたしました。

営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、周辺業種の参入により競争が激化する業界環境の影響を受け調剤薬局事業で労務費が増加したほか、新規連結子会社における費用やのれん償却等により費用負担は増加しましたが、事業基盤の拡充による増収で吸収を図り、いずれも前年同期比で増益を確保いたしました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは、2店舗（留萌大町（北海道）、みよし（愛知県））の新規開局を行い、当社グループが運営する調剤薬局は同期間末時点で205店舗（直営204店舗、F C 1店舗）となりました。

薬局運営面につきましては、中期経営計画で掲げるソフト（高付加価値）戦略に基づき、①地域医療（在宅医療・施設調剤）、②後発医薬品、③予防医療、に関する取り組みを推進してまいりました。特に後発医薬品につきましては、実績推移も好調であり、「安全と効果の検証」の方針に従い、対応をさらに加速させております。また、医薬分業率が既に一定水準に到達している状況を踏まえ、株式会社ヤマダ電機や株式会社ファミリーマートとの業務提携に基づく調剤薬局の面展開や新業態開発に向けた取り組みも着実に推進しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、売上高は8,619百万円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は368百万円（同7.3%増）となりました。

(その他)

その他の事業の主な内容は、JR札幌駅内の「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」に展開する「ファーマライズ医療モール」の運営と、平成24年10月に連結子会社化した株式会社寿製作所が手掛ける紙カルテやレントゲンフィルム等の医学資料の保管・管理事業であります。その他は、当社による処方データの販売、子会社の株式会社ふじい薬局による化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸売販売、ファーマライズ株式会社の子会社である株式会社レイケアセンターによる人材派遣事業等であります。

その他の事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は522百万円（前年同期比110.8%増）、セグメント利益は63百万円（同228.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は24,141百万円となり、前連結会計年度末残高23,774百万円に対し、367百万円増加しました。この主な要因は、償却によりのれんの残高が6,869百万円となり前連結会計年度末残高7,016百万円に対し146百万円減少した一方で、現金及び預金の残高が3,793百万円、商品の残高が1,221百万円となり、前連結会計年度末残高、それぞれ3,676百万円、967百万円に対し、117百万円、254百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は19,643百万円となり、前連結会計年度末残高19,314百万円に対し328百万円増加しました。この主な要因は、短期借入金の残高が230百万円、未払法人税等の残高が169百万円となり、前連結会計年度末残高、それぞれ1,350百万円、311百万円に対し、1,120百万円、141百万円減少する一方、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計残高10,708百万円並びに買掛金の残高が5,675百万円となり、前連結会計年度末残高、それぞれ9,301百万円、5,332百万円に対し、1,407百万円、342百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,498百万円となり、前連結会計年度末残高4,459百万円に対し38百万円増加しました。この主な要因は、四半期純利益140百万円の計上及び当社の配当金の支払105百万円による利益剰余金増加及び減少により利益剰余金の残高が2,825百万円となり、前連結会計年度末残高2,789百万円に対し35百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月12日付の決算短信で公表いたしました平成26年5月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,676,231	3,793,233
売掛金	1,890,601	1,874,626
商品	967,868	1,221,908
未収入金	1,408,029	1,479,805
その他	417,746	414,138
貸倒引当金	△21,134	△26,075
流動資産合計	8,339,342	8,757,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,986,923	3,010,268
土地	2,400,137	2,400,137
その他(純額)	534,891	485,843
有形固定資産合計	5,921,952	5,896,248
無形固定資産		
のれん	7,016,482	6,869,758
ソフトウェア	230,925	217,533
その他	50,606	94,184
無形固定資産合計	7,298,015	7,181,476
投資その他の資産		
差入保証金	885,684	900,725
その他	1,406,080	1,480,241
貸倒引当金	△94,892	△89,891
投資その他の資産合計	2,196,872	2,291,075
固定資産合計	15,416,840	15,368,800
繰延資産		
株式交付費	2,438	2,102
社債発行費	15,621	13,320
繰延資産合計	18,060	15,422
資産合計	23,774,243	24,141,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,332,177	5,675,058
短期借入金	1,350,000	230,000
1年内償還予定の社債	398,000	398,000
1年内返済予定の長期借入金	2,954,600	3,083,913
未払法人税等	311,118	169,819
賞与引当金	83,410	155,878
その他	1,020,238	852,701
流動負債合計	11,449,545	10,565,370
固定負債		
社債	691,500	641,500
長期借入金	6,346,599	7,624,708
退職給付引当金	295,279	302,638
その他	531,941	509,616
固定負債合計	7,865,320	9,078,462
負債合計	19,314,865	19,643,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,545	815,545
資本剰余金	762,846	762,846
利益剰余金	2,789,541	2,825,455
自己株式	△88,308	△88,308
株主資本合計	4,279,624	4,315,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,920	22,379
その他の包括利益累計額合計	18,920	22,379
少数株主持分	160,831	160,108
純資産合計	4,459,377	4,498,027
負債純資産合計	23,774,243	24,141,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	7,458,588	9,142,381
売上原価	6,377,756	7,735,621
売上総利益	1,080,831	1,406,760
販売費及び一般管理費	771,374	1,024,240
営業利益	309,457	382,519
営業外収益		
受取利息	1,050	2,135
受取配当金	431	732
持分法による投資利益	—	1,044
物品売却益	—	14,444
受取賃貸料	5,094	4,794
その他	3,886	12,109
営業外収益合計	10,462	35,260
営業外費用		
支払利息	33,326	45,136
持分法による投資損失	20,249	—
支払手数料	—	33,556
休止固定資産費用	8,309	4,437
その他	12,204	8,864
営業外費用合計	74,089	91,994
経常利益	245,830	325,786
特別利益		
投資有価証券売却益	—	998
特別利益合計	—	998
特別損失		
固定資産除却損	4,833	2,371
賃貸借契約解約損	16,885	1,800
特別損失合計	21,718	4,171
税金等調整前四半期純利益	224,111	322,612
法人税等	120,604	182,067
少数株主損益調整前四半期純利益	103,506	140,544
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,260	△372
四半期純利益	102,245	140,917

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,506	140,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,683	3,458
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	—
その他の包括利益合計	1,639	3,458
四半期包括利益	105,146	144,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,885	144,376
少数株主に係る四半期包括利益	1,260	△372

（継続企業の前提に関する注記）

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	7,210,632	7,210,632	247,955	7,458,588	—	7,458,588
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,210,632	7,210,632	247,955	7,458,588	—	7,458,588
セグメント利益	343,580	343,580	19,371	362,951	△53,494	309,457

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業、医療モール経営事業及び人材派遣事業が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△53,494千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	8,619,705	8,619,705	522,676	9,142,381	—	9,142,381
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,619,705	8,619,705	522,676	9,142,381	—	9,142,381
セグメント利益	368,777	368,777	63,618	432,396	△49,876	382,519

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業、医療モール経営事業、人材派遣事業及び医学資料保管・管理事業等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△49,876千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。